

練馬のみどりを未来につなぐ

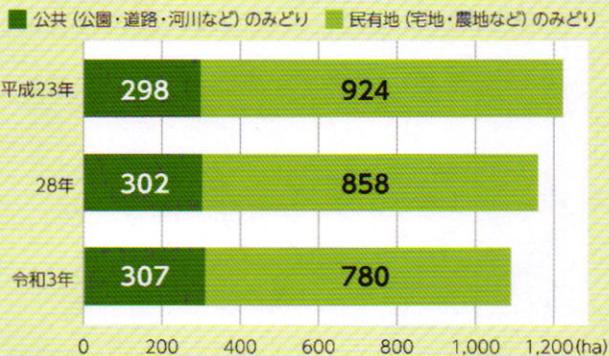
みどりを守り、増やしていこう

▲ 練馬のみどりが減少しています ▲

区は、みどりに関する施策を検討するために、5年ごとに「みどりの実態調査」を行っています。
令和3年度の調査では、民有地のみどりが大きく減少していることが分かりました。

民有地のみどりが減少

公園の整備などにより公共のみどりは増加していますが、民有地のみどりが減少しています。



緑被率が低下

上空から見て、樹木地や草地、農地で覆われている土地の面積割合が年々低下しています。



公共のみどりは約9ha増加しています



清水山の森



大泉学園町希望が丘公園

〈10年間の区の取り組み〉

- こどもの森の開園
- 清水山の森の開園
- 練馬総合運動場公園の開園
- 上石神井こもれび公園の開園
- 大泉学園町希望が丘公園の拡張
- 補助132号線の整備 など

位置は裏面の地図参照

みどり全体は減少しています

10年間でみどり全体の1割（約135ha）が失われています



石神井公園 (22.6ha)

||

×

約6個

区民の皆さまから

「公園や緑地のさらなる整備」が望まれています

みどりの実態調査の区民アンケートでは、「今後の必要な取り組み」として6割以上の区民の皆さまが公園や緑地の整備を望んでいます。

1位
(64.3%)

豊かなみどりをつくるため、道路や河川沿いに公園や緑地を整備する

2位
(61.2%)

誰もが気軽に利用できるように、身近な公園や緑地を整備する

3位
(44.5%)

練馬のみどりを守るために、民有樹林地や農地の所有者を積極的に支援する

びいちゃん©練馬区



グランドデザインに基づき

みどりのネットワークを形成します

公園を整備し、都市計画道路や河川などをつなぐ「みどりのネットワーク」の形成には長い年月を要します。平成30年に策定した「都市のグランドデザイン」に基づき、みどり豊かな成熟都市を目指します。

目指す将来像と取り組みの状況

公園の整備



みどりや水に触れるなど、区民が思い思いに過ごす場所や防災拠点として利用されています。

道路や河川の緑化



街路樹が大きく成長し、みどり豊かで快適な空間となっています。

樹林地の保全



雑木林や屋敷林、湧水池など、貴重な植物と出会える区民のオアシスになっています。

都市農地の保全



住宅地と農地が共存するなど、農を活かしたまちづくりが進み、区の魅力が高まっています。

- ★ … これからの主な取り組み
- … 1ha以上の都市計画公園・緑地
- … 幹線道路など(事業予定を含む)



区民の皆さまと共に進めます

～みどりのムーブメントの輪を拡大

みどりを守り育てる活動

樹林地の保全や落ち葉清掃など、民有地のみどりを地域で守る活動を行っています。



練馬みどりの葉っぱい基金

令和4年度選べるプロジェクト



びいちゃん©練馬区

↓ 牧野記念庭園書斎再現



(仮称)農の風景公園 ↑

練馬

みどりの人材バンク

ボランティア登録のご案内および詳細はこちら ▶



令和4年(2022年)10月発行

練馬区環境部みどり推進課

東京都練馬区豊玉北六丁目12番1号

電話 03-5984-1659